

日本型オープン イノベーションの目指す方向

日時 2014年12月13日(土) 13:00~17:00

会場 阪南大学本キャンパス 50周年記念ホール

大阪府松原市天美東5丁目4番33号

プログラム

学長挨拶 辰巳 浅嗣 学長
開会挨拶 石井 雄二 大学院企業情報研究科長

第1部 基調講演

13:15~13:45 高島 昌明 氏 (経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長)
「関西経済の活性化とイノベーション推進策」

第2部 講演

- 13:45~15:00
- ① 大槻 眞一 氏 (元阪南大学学長)
「日本的オープンイノベーションの課題」
 - ② 村上 功 氏 (株式会社 村上技研産業 代表取締役)
「常に無を有に！！」
 - ③ 王 琦 氏 (中国・長春工業大学 経済管理学院教授)
「産官学連携と安定的なオープンイノベーション体制構築」
 - ④ 楊 曄 氏 (中国・広東外語外貿大学 東方語言文化学院教授)
「中国の産業技術の高度化とイノベーション法」

15:00~15:20 中間休憩

第3部 パネルディスカッション

15:20~17:00 司会：洪 詩鴻 教授

閉 会



主催：阪南大学大学院 企業情報研究科

共催：一般財団法人 大阪科学技術センター・MATE研究会・国際ビジネス研究学会

日本型オープンイノベーションの目指す方向

開催趣旨

グローバル化と IT 技術の普及により、新製品のサイクルが短くなる一方、世界市場ではグローバル仕様が求められた。

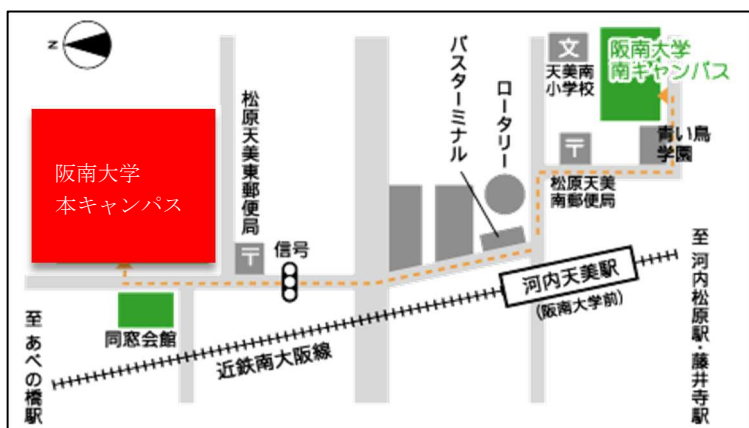
通信機器や自動車業界などでは「オープンイノベーション」による製品開発と製造は世界範囲で展開しつつある。

これまで日本は系列を中心にした「日本型オープンイノベーション」で日本の製造業を支えてきた。

一方では日本型イノベーションはスピード感や、イノベーションのアウトカムの強化が必要だと言われている。

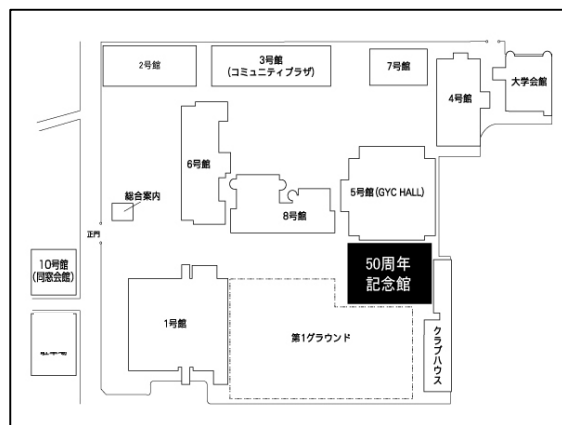
日本とは対照的に、製造技術や系列の弱い中国の企業はどのようなイノベーション戦略を考えているのか、またアジア市場では、オープンイノベーションの協力体制の構築は可能かどうか、について日中研究者と実務者を交えて議論する。

< 阪南大学案内図 >



★近鉄南大阪線河内天美駅（阪南大学前）下車北へ徒歩 6 分

< 50 周年記念館 4F 50 周年記念ホール >



会場は南キャンパスではございませんので、ご注意ください。
駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪南大学大学院 国際シンポジウム 申込書

FAX : 0 7 2 - 3 3 7 - 4 3 8 5

E-Mail : kyomu@office.hannan-u.ac.jp

■FAX でお申し込みの方は、下記必要事項をご記入の上、切らずにそのままご返信ください。

■メールお申し込みの方、下記必要事項を記入の上、ご送信ください。 申込期限:2014 年 12 月 8 日(月)

住所			勤務先又は 学校名	
ふりがな			電話番号	
氏名			E-Mail	

※この申込書において知り得た個人情報は この講座、または本学からのご案内に関する以外に利用いたしません。